事例No.	2171
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	岐阜県飛騨市

事例区分	DX

タグ	・関係人口 ・ICT

事例種類	キャッシュレス

事例内容・タイトル

地元金融機関と連携し、地域電子通貨に会員証機能を追加

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

191 地元金融機関と連携し、地域電子通貨に会員証機能を追加【岐阜県飛騨市】

事業の概要

○　飛騨市は、平成29年に「飛騨市ファンクラブ」を設立した。会員にはオリジナル会員証を発行しており、対象宿泊施設やファンクラブサポートセンターに会員証を提示することで特典を受けられる。

○　飛騨市を含む飛騨地域２市１村（高山市、飛騨市、白川村）では、地元金融機関「飛騨信用組合」が運用する電子地域通貨「さるぼぼコイン」が利用されており、飛騨市民の約4人に1人がユーザーとなっている（飛騨信用組合推定）。

○　令和３年７月までの会員証は、電子マネー機能を備えたカードを導入していた。しかし、スマートフォン決済の普及により財布を持ち歩かない方が増えていることから、これまでカードとして発行してきた会員証を、電子地域通貨さるぼぼコインアプリ（スマホアプリ）内の機能として電子化することで、いつでも身近に持ち歩ける会員証となるとともに、プッシュ配信による情報提供や「さるぼぼコイン」を活用したキャンペーンの実施、会員特典の付与が可能となった。

【参考情報】　人口：2.3万人
関連URL：https://www.city.hida.gifu.jp/site/fanclub/

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（飛騨市）

令和２年５月21日に飛騨信用組合と「関係人口の創出・拡大」を目的とした連携協定を締結しました。
その連携項目の一つとして、関係人口であるファンクラブ会員の方にも「さるぼぼコイン」を利用してもらうことで、より飛騨市に親しみをもってもらい、ファン層の拡大を図るため電子会員証を始めました。



事業の効果はどのようなことがありましたか？



会員証を電子化することで、会員証を忘れて会員特典が受けられないというトラブルを削減できました。
また、プッシュ配信機能を活用し、ファンクラブ会員限定の情報を随時お届けできるようになりました。
さらに、「さるぼぼコイン」を活用した会員特典を付与することで、飛騨地域内での経済循環が生まれています。



今後の展望を教えてください。



「さるぼぼコイン」を活用したファンクラブ独自のキャンペーンを実施することで、ファンクラブ会員に飛騨市に来て「さるぼぼコイン」を利用してもらうきっかけを作り、市内での買い物等を通じた市民や会員同士の交流を創出していきたいと思っています。

★担当：飛騨市企画部 総合政策課★

令和3年度事業費　1,100千円